

第4学年 社会科「多文化共生を目指す高松市の姿」

学習指導者 網野 未来

<p>主張点</p>	<p>日本人と外国人が共に歩み寄ることによって実現する多文化共生社会のよさを捉えられるように、まず子供たちにとって身近で想像しやすい交流活動を、次に想像しにくい生活支援について追究していく活動を高松市、仏生山地域と二度繰り返す展開にすることで、特色あるまちづくりについて理解を深めました。</p>
<p>前時までの学び</p>	<p>多文化共生のまちの実現を目指す市役所や市国際交流協会、仏生山国際交流会の取組を資料を通して調べました。その際、外国人住民の方の思いや願いを関連付けながら、まちづくりに関わる人々が、外国人と日本人の交流する機会をつくったり、外国人への支援を行ったりしていることを捉えました。</p>
<p>〈課題設定以前〉 1 学習課題を確認する。</p> <p>.....</p> <p>〈課題解決中〉 2 十河さんが外国の料理を用意している理由を予想し、話し合う。</p> <p>3 検証する。</p> <p>.....</p> <p>〈課題解決後〉 4 学習を振り返る。</p>	<p>子供が既習内容をまとめたなるほど・はてなボードを指し示しながら、前時に分かったことを確認しました。そして前時に出た、防災訓練では日本での災害時の対応に慣れてもらうことが大切なはずなのに、十河さんは外国の料理を用意していることが不思議だという疑問を全体で共有し、課題を設定しました。</p> <div data-bbox="448 925 667 1059"> </div> <div data-bbox="683 925 1422 1070" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>市役所の防災訓練では、日本の非常食を食べていたけれど、仏生山ではインドネシアの料理を出していて、その理由が分かりませんでした。</p> </div> <div data-bbox="427 1081 1396 1167" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習課題：十河さんは、なぜ、防災訓練で外国の料理を用意しているのだろう</p> </div> <p>予想の見通しをもつために、外国の料理を用意することには、外国人と日本人の両方にとってのよさがあることを確認し、予想したことをなるほどボードで話し合いました。まず、自分の考えを付箋紙に書き、班で一枚のボードに貼りだしました。そして、友達のととの共通点や相違点に着目し、似た考えを近くに貼るなどしていきながら、考えをつくりました。その後、全体で話し合い、資料で検証していくことを通して、外国人のためだけではなく、外国人と日本人が親しくなっていて助け合える関係になっていけるよさがあることに気付いていきました。</p> <div data-bbox="427 1485 730 1675" style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>私は、イスラム教徒の外国人が安心して食べられるというよさがあると思うよ。</p> </div> <div data-bbox="730 1496 962 1653"> </div> <div data-bbox="978 1485 1417 1675" style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なるほど。僕は日本人が外国の料理の味を知り、それがきっかけで話すようになって、外国人と仲良くなっていけると思うよ。</p> </div> <p>今日の「なるほど」シートを使って、なるほど度をメーターに表し、なるほどと思った要因を記述しました。友達の意見と資料を観点として示し、振り返る際に、友達の考えや資料のよさに気付けるようにしました。</p> <div data-bbox="419 1798 587 1933"> </div> <div data-bbox="603 1832 1417 1933" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>〇〇さんが発表した、「日本人が外国のことを知ることで、親しくなっていて助け合える」という考えになるほどと思ったよ。</p> </div>
<p>考察</p>	<p>日本人と外国人のよさについて話し合う時間を十分に確保したり、多文化共生の意味について共有したりすることで、更に考えを深めることができたと思う。</p>

